

# 追悼 名誉会員 長谷川幸男先生を悼む



昭和2年5月9日生まれ

昭和26年3月 早稲田大学理工学部工業経営学科（機械分科）卒業

昭和26年4月 精工舎へ入社

昭和40年4月 早稲田大学生産技術研究所助教授

昭和46年4月 早稲田大学システム科学研究所教授

昭和53年 スイス ローザンヌ工科大学客員教授

昭和62年 社団法人日本ロボット学会副会長

平成1年 スイス ローザンヌ工科大学客員教授

平成2年 社団法人日本ロボット学会監事

平成2年頃 国際ロボット連盟（IFR）会長

平成2年頃 国際建設ロボット学会（IAARC）会長

平成9年 早稲田大学名誉教授

平成10年 博士（工学）（早稲田大学）

平成14年 社団法人日本ロボット学会 名誉会員（名誉顧問）

平成28年5月23日 逝去（享年89歳）

## 受賞及び栄典

昭和52年 第1回 エンゲルバーガー賞

平成2年 第7回 ゴールデン・ロボット賞

平成2年 通商産業大臣賞

平成24年 一般社団法人日本ロボット学会 設立特別功労賞

平成27年 瑞宝中綬章

---

---

# 追悼

## 長谷川幸男先生を悼む

青山学院大学  
ヒューマン・イノベーション研究所  
所長 玉木欽也  
(経営学部教授)

長谷川幸男先生、ご冥福をお祈り申し上げますとともに、心からの感謝のことばをこの場をお借りして申し上げます。

長谷川先生は、日本ロボット学会の設立当初から学会運営に対して、多大なご尽力をされ、2012年には日本ロボット学会 設立特別功労賞を授与されました。また、1990年頃には、国際ロボット連盟 (IFR) と国際建設ロボット学会 (IAARC) の会長を務められ、ロボットの国際標準規格の制定に関する活動にも関与されました。

長谷川先生は、1951年に早稲田大学理工学部工業経営学科 (機械分科) を卒業し、精工舎へ入社され、1957年から1958年にかけてミシガン大学に滞在し、生産技術の研究に従事されました。

1965年より早稲田大学生産技術研究所の助教授に着任されました。その後、同研究所はシステム科学研究所に改変され、1971年から教授になりました。

1982年からは建設会社などの11社と共同で建設ロボット化共同プロジェクト「WASCOR」を開始されました。このプロジェクトは15年間に及び、社会人向けのロボット講座も実施するとともに、31件の特許が出願されました。

1978年と1989年にはスイスのローザンヌ工科大学客員教授として、組立ロボットの研究開発に協力されました。

この間、多くの社会人学生、学部生・大学院生、留学生などの研修指導を熱心に行ってくださいました。

その際、夏合宿時には、伊豆高原にある別荘に学生たちを招いてくださいました。お正月には現役学生の他に卒業生やその家族を含む大勢をご自宅に招いてくださり、奥様の温かい手料理を振る舞ってくださいました。先生そしてご家族と過ごさせていただいた楽しい思い出は、卒業生一同の生涯の宝物として一人ひとりの心に刻まれています。

この稿を終えるにあたって、長谷川幸男先生が残されたロボット工学の数々の研究業績、ロボット学会をはじめとする様々な学会での功績、ならびに産業界における研究開発実績などの成果に敬意を捧げますと同時に、発展に尽くされた多大なる功績に対しまして、心からの感謝の意を表します。